

玉川地域の特性と予想される災害

1. 地域の特性

地下鉄「玉川」駅東側の阪神高速神戸線を挟む東西に広がり堂島川に面する地域です。

古くからの住宅が密集する地区がある一方東側には、複数棟からなるマンションや公団住宅が建っており、近年では、堂島川沿いに、高層住宅が多数建設され、人口が増加しています。

古くからの住宅が密集する地区には、長年にわたって住む高齢者も多く、地域のつながりが強い地域です。

また、神社やお寺が多く、祭りなどの行事の際は、多くの人で賑わいを見せています。

2. 防災面からみた玉川地域

玉川地域を防災面からみると、昔からの木造家屋が多く、火災が発生した場合、消防車が近くまで行くことができないため、被害が拡大する恐れがあります。

地震の揺れによる家屋の倒壊の危険性が高く、倒壊した家屋が道路をふさぎ、通行が遮断される恐れがあり、消火活動や家屋の下敷きになった住民の救助が、困難となることが想定されます。

公的な救助部隊がかけつけ、本格的救助が始まるまでの間、**住民同士で助け合い**、救出・救護、初期消火するための、具体的行動を決めることが必要となってきます。

また、過去には、ジェーン台風（昭和 25 年）、第 2 室戸台風（昭和 36 年）がもたらした高潮により、**堂島川が氾濫**し、多くの家屋が浸水による被害を受けました。

近年、増えている**ゲリラ豪雨による浸水**や、近い将来、発生すると想定されている**南海トラフ巨大地震**による津波に対して、自力では避難が困難な高齢者や障がい者を**どのように支援**するかが課題となっています。



ジェーン台風で水浸しの玉川町3丁目附近

3. 海溝型地震（南海トラフ巨大地震）

福島区の震度予想は6弱で、大阪市のほぼ全域が震度6弱でおなじ。



計測震度



4. 直下型地震（上町断層での地震）



計測震度



震度6弱、6強、7とは

電気・ガス・水道などのライフラインはストップすることも予想されます。

震度 6弱

- 立っていることが困難になる
- 未固定の重い家具の多くが移動、転倒する
- かなりの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損

震度 6強

- はわないと動くことができない
- 未固定の家具のほとんどが移動し、転倒する
- 壁のタイルや窓ガラスが破損

震度 7

- 揺れに翻弄され、飛ばされることもある
- 未固定の家具は飛ぶこともある
- 補強済みのブロック塀も破損するものがある



海溝型地震の被害状況

大きく長い揺れで津波がくる可能性がある。



直下型地震の被害状況

揺れている時間は短いですが、強く激しく揺れて高い建物でも大きく破壊するものがある。